

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆☆
内装仕上げの制限なし

カタログ
No.099-2

1液水性エポキシ変性さび止め塗料 水性ラスノンEPO



1液水性エポキシ変性さび止め塗料

水性ラスノンEPO

水性ラスノンEPOは、 従来の水性さび止め塗料の 常識をくつがえす 高度な防錆性を発揮！

強力な防錆性

弱溶剤系 1液形
エポキシ変性さび止め塗料に
匹敵する優れた防錆性！

環境に配慮！ 鉛・クロムフリー

環境に配慮し、鉛・クロム系の
防錆顔料を使用していません。

安全性の高い水性塗料

低臭・低 VOC 設計で
安全性が高い水性塗料。

強靭な塗膜！

1液形でありながら強靭な塗膜を形成！
さらに 1液形なので可使時間がなく
取り扱いカンタン！

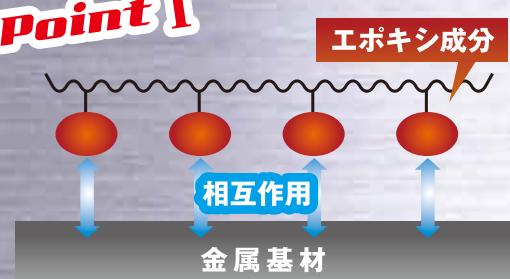
艶のり良好！

ローラー及び刷毛作業性に優れ、
上塗り塗料の艶のりが良好です。



水性ラスノンEPOの防錆機構

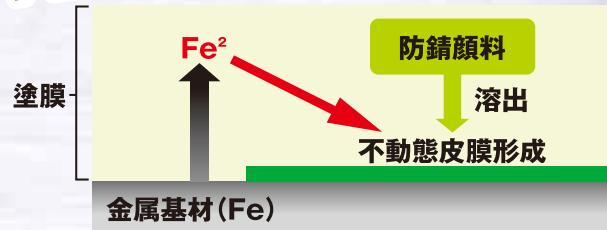
Point 1



金属表面とエポキシ成分との間に働く相互作用により
密着性向上

水などの腐食因子をブロック！

Point 2



鉄イオンと防錆顔料との反応により、
金属表面に不動態皮膜（パリヤ性の高い金属皮膜）を形成

防錆顔料による不動態皮膜形成

耐中性塩水噴霧性試験

試験条件

乾燥膜厚：約40μm
試験時間：240時間

さび及び
膨れの発生が
非常に軽微！

**水性ラスノン
EPO**



市販水性
さび止め塗料 A



市販水性
さび止め塗料 B



弱溶剤系 1液形
さび止め塗料



フラッシュさび (さび発生面)

試験条件

温度：23°C
湿度：100%
乾燥膜厚：約40μm
試験時間：16時間

基材
SPCC-SD
[さび発生前]



**水性ラスノン
EPO**

弱溶剤系
さび止め塗料に
匹敵する
さび面適合性

市販水性
さび止め塗料 A



市販水性
さび止め塗料 B



弱溶剤系 1液形
さび止め塗料



塗膜性能

試験項目	試験結果	品質規格 (JIS K 5674-2種に準じる)
容器の中での状態	合格	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になる。
低温安定性 (-5°C)	合格	変質しない。
塗装作業性	合格	支障がない。
表面乾燥性	合格	表面乾燥する。
塗膜の外観	合格	正常である。
上塗りの適合性	合格	支障がない。
耐屈曲性	合格	折り曲げに耐える。
付着安定性	合格	はがれを認めない。
サイクル腐食性	合格	膨れ、はがれ及び錆がない。
加熱残分 %	合格	50以上
塗膜中の鉛 %	配合せず	0.06以下
塗膜中のクロム %	配合せず	0.03以下
防せい(錆)性	合格	防せい(錆)性をもつ

用途

鉄鋼構造物・手摺・扉・パイプ・
ダクト・屋根など
※シャッターには適用不可

適応素地

鉄骨・鋼板・ステンレス・アルミ・トタンなど
※どぶ漬け溶融亜鉛めっき鋼材・塩化ビニル被覆鋼板は適用不可

適応旧塗膜

SOP・フタル酸樹脂塗料・
アクリル樹脂塗料・ウレタン樹脂塗料など
※ふっ素樹脂塗料は適用不可

色相

白・グレー ※グレーの色相はマンセル N-8程度。

容量

16kg・3kg

標準塗装仕様

工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23°C)	塗装方法
1 素地調整	新設	●ディスクサンダーなどの電動工具を主体とし、スクラーパー、ワイヤーブラシ、研磨布などの手工具を併用して、さび・黒皮・じんあい・汚れなどを除去する。 ●油分はシンナー拭きで除去する。				
	塗替	●旧塗膜のはがれ・浮き・亀裂・ぜい弱部およびさびをサンダー・皮すき・研磨紙(P120~240)などを用いて除去する。活膜は研磨紙で目粗しする。 ●劣化粉状物・じんあい・よごれなどをブラシ・布などで除去する。				
2 さび止め塗り	水性ラスノンEPO 清水	100 0~5	0.11~0.15	1~2	4時間以上 ※1	はけ塗り ローラー塗り スプレー塗り
3 上塗り	●適用上塗り ■水性 AEPクリーニングロス・水性ウレタンユニ・水性シリコンユニ・水性無機コートSiなど ■弱溶剤 1液ワイドウレタン・1液ワイドシリコン・ワイドウレタン・ワイドエポーレSiなど ※2					

※1) 屋根塗装の場合の塗装間隔は16時間以上(23°C)取ってください。※2) エスコートホープDXは上塗りできません。

■1回塗りでの膜厚は35~45μmです。

■溶接部にはスパッターが残らないように、サンダー・タガネ・ブラシなどで取り除いてください。

■鉄部の接続部・溶接部・エッジ部またはケレンで凹凸を生じた面などは、水性ラスノンEPOを増し塗りしてください。

■旧塗膜の欠損により素材が露出している場合は、下塗り前にあらかじめ水性ラスノンEPOで補修塗りをしてください。

■腐食の厳しい環境では、さびストップを使用してください。

■素地がどぶ漬け溶融亜鉛メッキ鋼板の場合、下塗りにはさびストップを使用してください。

■素地がカラートタンの場合は、耐水研磨紙P240で研磨した後、溶剤拭きしてください。

塗装上の注意事項

- 素地調整が不十分ですと、さびの発生・付着不良の原因になりますので入念に行ってください。
- 塗料は十分に攪拌してから使用してください。
- 気温5°C以下、湿度85%以上または結露が懸念される場合は、塗装を避けてください。
- 降雨、降雪が予想される時、強風の時などは塗装を避けてください。
- スプレー塗りの場合は、周辺への飛散防止に十分配慮し、養生などを行ってください。
- 塗料の取り扱い時と塗装時は、十分に換気を行ってください。また、塗装後も乾燥のために、換気を十分に行ってください。
- 塗装後のはけ・ローラー・エアレス塗装機などの用具は早めに水洗いを行ってください。
- コンクリート、モルタルなどのアルカリ素地には塗装しないでください。

取扱い上の注意事項

- 換気の良い場所で使用してください。
- 居住者・隣家・車両などへ塗料ミスト、臭い、蒸気などが飛散しないような塗装方法を選ぶとともに、十分な養生を行ってください。
- 臭いは食料品・飲食器・衣類などに、うつる場合があるので、塗装場所から遠ざけるまたは養生するなど、十分注意してください。
- 粉じん・ミスト・蒸気・スプレーを吸引しないでください。
- 環境への放出を避けてください。
- この製品を使用するときに、飲食しないでください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分行ってください。
- 保護手袋・保護眼鏡・保護面・保護衣・呼吸用保護具を着用してください。
- 吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けてください。
- 飲み込んだ場合は、直ちに医師に連絡してください。口をすすぐでください。無理に吐かせないでください。
- 目にに入った場合は、水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当を受けてください。
- 皮膚（または髪）に付着した場合は、直ちに汚染された衣類をすべて脱いで取り除いてください。皮膚を流水・シャワー・石鹼で洗ってください。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当を受けてください。
- 漏出した場合は、すべり・流出の危険があるので直ちに布やウエスで拭き取ってください。
- 容器を密閉し、涼しい換気の良い場所で施錠して保管してください。
- 火災・腐食・盗難・凍結などの恐れのないところに保管してください。
- 部外者や子供の出入りしないところに保管してください。
- 内容物や容器などは、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託してください。（排水溝・地面・河川などに流さないでください。）
- 容器を転倒させる・落下させる・衝撃を加えるまたは引きずるなど、粗暴な行為をしないでください。
- 手環やバンドを用いて、高所への吊り上げ作業は行わないでください。
- 容器を手で持つ場合は、垂直に持ち上げて取り扱ってください。
- より詳細な情報は、MSDS（製品安全データシート）を参照してください。



営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4 ☎059-397-2187 FAX 059-397-6191
研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1 ☎059-346-1116 FAX 059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255
大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621
九州支店 ☎092-938-0071

URL <http://www.suzukafine.co.jp/>

□ 本カタログの内容は、改良のため、予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

取扱店